

## 基本施策4 スポーツを支える人材の育成と活用

### 施策目標

県民のスポーツ活動の充実に欠かせない質の高い指導者やボランティア等の育成と、その人材の効果的な活用

### 現状と課題

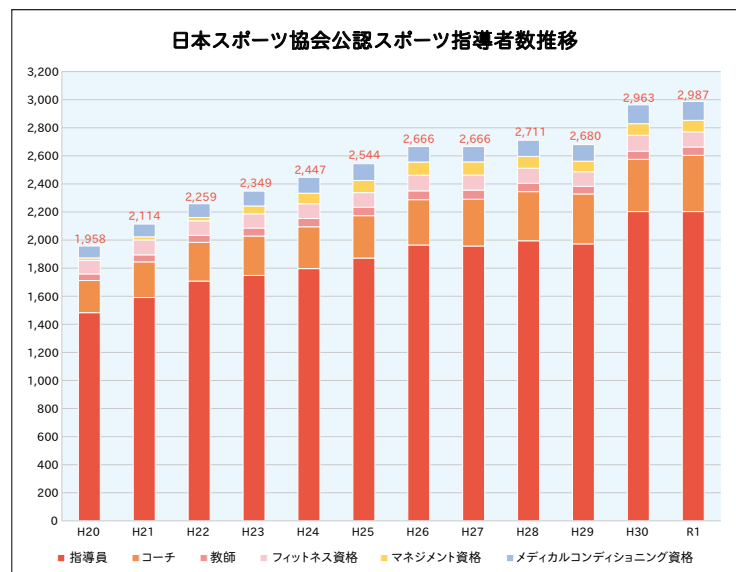
#### 1 地域スポーツを支える指導者やボランティア等の確保と活用

県では、これまで各種指導者等に研修会や講習会（地域スポーツクラブスキルアップ研修会、中高年安全登山指導者講習会、スポーツエキスパート研修会等）を開催し、スポーツ指導者の資質向上に努めてきました。また、平成20年度から運用している総合型クラブを窓口としたスポーツ指導者登録・紹介システム「スポーツ指導者パネットとやま」では、登録されたスポーツ指導者等の効果的な活用が図られるよう、機能の充実に努めてきましたが、指導者の高齢化に伴い登録者数が年々減少してきています。

県民のスポーツ活動を充実させるためには、それらを企画・運営する人材や、地域の実態や住民のニーズに応じた指導ができる総合型クラブのクラブスタッフや地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、障害者スポーツ指導者などの人材を今後も継続して育成していく必要があります。

また、オリンピックなど国際大会で活躍したトップアスリートから直接指導を受けることは、特に子どもたちのスポーツに対する意欲や競技力の向上が高まることから、今後もトップアスリートの活用に努めていくことが必要です。

さらに、平成27年から始まった富山マラソンでは、多くのボランティアが大会運営に参加しています。近年、スポーツイベントや大会において、ボランティアの重要性が増してきていることから、今後も、スポーツボランティアの意義や必要性を啓発し、ボランティアに対する意欲をもった人が、主体的にスポーツ活動を支援することができる機会の拡充を図るとともに、積極的な情報提供を行う必要があります。



資料：(公財) 富山県体育協会調べ



富山マラソンでのボランティア

## 2 競技力の向上を担う指導者の育成

県では、アスリートを育成する指導者の資質の向上と資格取得を推進してきました。その中で、豊富な経験と高い見識に基づいた現場指導の充実を図るために、平成27年からスーパートレーナーやトレーニング指導員を大会会場や練習会場へ派遣し、最先端の指導法の伝授等、競技力の向上の改善に取り組んできました。また、中学校や高等学校運動部活動に、全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者（スーパーコーチ）を派遣し、チームや地域の枠を超えた一貫指導を推進してきました。



スーパートレーナーによる指導

しかし、スーパートレーナーやトレーニング指導員の派遣要請が年々増加してきていることから、サポート拠点施設での現有職員の資格取得の促進や上級トレーニング指導員の配置の充実の必要性、スーパーコーチの高齢化への対応等に努める必要があります。

また、近年、指導者における不正行為や暴力・ハラスメント等の問題が発生していることから、指導者の不正行為の防止に向けて、研修・啓発活動の充実が必要となっています。

## 3 スポーツ活動の顕彰

県では、全国的・国際的大会に出場する選手等に対するの激励会をはじめ、特に優秀な成績を取った選手・チーム・団体やその指導者、本県スポーツの推進に貢献した団体役職者や地域のスポーツクラブ等を県功労者表彰、県教育委員会表彰などにより顕彰しています。



元気とやまスポーツ大賞受賞報告会

また、平成18年度から「元気とやまスポーツ大賞」を制定し、これまで対象とならなかった大会等で活躍した選手や団体、地域のスポーツ振興や普及に献身的に取り組んでいる人、児童生徒の体力づくりに積極的に取り組んだ学校等、積極的なスポーツ活動によって県民に元気を与えた個人や団体を表彰しています。

### 具体的方策

#### 1 スポーツに関わる多様な人材の育成と活用の推進

##### (1) スポーツのすそ野を拡大する指導者の育成

地域住民のスポーツ活動に対するニーズが多様化する中、今後、地域スポーツを一層推進するため、子どもや高齢者、障害者等、それぞれの発育・発達段階や健康状態などに応じた指導ので

きる、質の高い指導者の育成と活用に努めます。

- 地域住民のニーズに応じた指導ができるよう、研修会やシンポジウム等を開催し、指導者の資質向上を図るとともに、資格を持たない指導者に対する資格取得を推進します。
- 地域におけるスポーツ推進の中核的な役割を担うスポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、県生涯スポーツ協議会等のスポーツ関係団体と市町村のスポーツ推進委員との連携・協働を促進するため、県スポーツ推進委員協議会による講習会の開催等、活動の活性化に向けた取組を支援します。
- 地域住民が身近にスポーツ活動を親しむ場としての総合型クラブの運営を支えるクラブマネージャーや指導者等、充実した活動と安定した運営を支える人材の発掘、育成に努めるとともに、広域スポーツセンター事業等を通じて、クラブマネージャーの資質向上研修等の充実に努めます。
- 障害者スポーツの振興を図るため、障害者スポーツ指導者や障害者スポーツ審判員の養成と資質の向上を図ります。
- 指導力や熱意を有しながら指導機会に恵まれない地域の隠れた人材を確保し、県内各地域のスポーツ活動で「スポーツ指導者パスネットとやま」が一層活用されるよう、利用者に提供する指導者情報の内容の充実に努め、その周知に努めます。

## (2) 国際大会等で活躍したトップアスリートの活用の推進

子どもたちのスポーツに対する意欲の向上や競技力の向上を図るため、オリンピックや国際大会等で日本代表選手として活躍したトップアスリート等の活用を推進します。

- 本県出身のトップアスリートやオリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会で活躍した選手を、市町村・総合型クラブ、競技スポーツ団体等が開催するスポーツイベントやスポーツ教室に指導者として派遣し、地域のジュニアアスリートの育成・強化や子どもの体力向上事業に積極的に活用するための方策を検討します。



オリンピックによるスポーツ教室

## (3) スポーツボランティアの活用の推進

各種スポーツイベント等において、ボランティアは必要不可欠な存在であるとともに、ボランティアとして活動することは生きがいづくりや世代、職種等を超えた交流の輪の拡大にもつながることから、県民が継続的・積極的にボランティア活動に参加できる環境づくりに努めます。

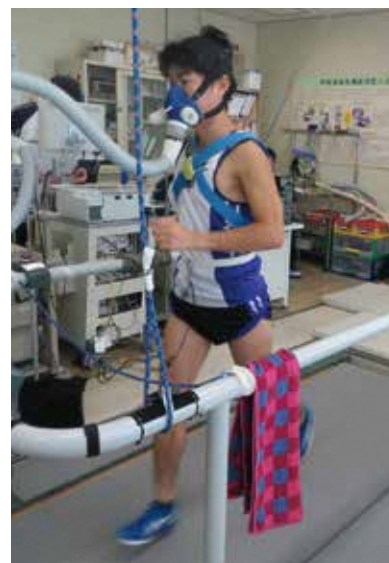
- 関係機関やスポーツ団体、大学等と連携を図り、誰もがスポーツボランティアの体験をする機会を設けるなど、スポーツボランティア活動の普及啓発を図ります。
- 「富山マラソン」など県民参加型のスポーツイベント等において継続的なボランティア活動の機会づくりに努めます。

## 2 競技力の向上を担う指導者と国レベルの強化拠点との連携強化

### (1) スポーツ医・科学的サポートの充実

全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成には、指導者の情熱はもちろんのこと、最新の指導理論やスポーツ医・科学、リスクマネジメント等の知識に裏打ちされた実践が不可欠であることから、指導者の資質向上を図るとともに、スポーツ医・科学的サポートの充実に努めます。

- 本県選手に対するスポーツ医・科学的サポート機能を充実するため、サポート拠点施設での現有職員への資格取得の促進や、上級トレーニング指導員などトップレベルのトレーニング指導ができる人材の養成に努めます。また、(公財)県体育協会や競技スポーツ団体、企業等と連携し、県内外の大学等で活躍し、指導意欲をもつ選手を指導者として育成・活用するための方策について検討します。
- 豊富な経験と高い見識をもつスーパートレーナーによるサポートの充実に努めるとともに、県・(公財)県体育協会・競技スポーツ団体関係者とスーパートレーナーとの連携を密にすることで、練習拠点における指導者の育成強化に努めます。
- 指導者の不正行為の防止に向けて、体罰やハラスメントの防止に関する指導、ドーピング防止に関する指導・啓発を継続的に行い、コンプライアンスの推進に努めます。(再掲)



スポーツ医・科学的サポート

### (2) 国立スポーツ科学センター (JISS) やナショナルトレーニングセンター (NTC) との連携強化

競技スポーツを取り巻く環境は日々変化していくことから、常に情報を収集、分析し、その変化に的確に対応できるよう国の強化拠点施設との連携強化に努めます。

- JISSやNTCなどとの連携により、指導者の研修機会の充実や戦術・戦略やトレーニング方法など、世界の最先端の情報の入手や周知など、本県指導者の資質の向上を図るとともに、資格を持たない指導者に対しての資格取得を推進します。

## 3 スポーツ活動の顕彰の充実

### (1) 国際大会等で活躍したアスリートを称える顕彰の充実

国際大会等で活躍する本県のアスリートの姿は、県民に勇気と感動、子どもたちに夢と希望を与えるものであり、その社会的価値を評価し顕彰するとともに、県民に広く発信していきます。

- 国際大会等で特に優秀な成績を収めたアスリートやその指導者、また、オリンピックメダリストの輩出に貢献した企業等の団体の功績を称え顕彰するとともに、感動を県民全体で共有するため、HPや各種メディアで広く発信していきます。

## (2) 県民の多様なスポーツ活動を称える顕彰の充実

県民のスポーツに対する意欲の向上と多様なスポーツ活動を推進するため、地域においてスポーツの普及や指導に地道に取り組んでいる人などを広く顕彰していきます。

- 「元気とやまスポーツ大賞」が県民のスポーツ活動の一層の励みとなるよう、また、スポーツボランティアや地域・職場等においてスポーツの普及・振興に尽力した団体・個人等、これまで以上に広く顕彰できるよう、制度の充実に努めます。

## 施策目標達成のために参考とする指標

指標名及び指標の説明	現 況	R11
<b>スポーツ指導者数</b> (公財)日本スポーツ協会に登録している 公認スポーツ指導者数	2,987人 (R1)	3,000人
<b>障害者スポーツ指導員数</b> (公財)日本障がい者スポーツ協会が定め る「障害者スポーツ指導員」資格の取得者 数(累計)	685人 (H30)	925人 (R6:805人)